

令和7年1月13日（月・祝）

第12期Aコース研修生 「修了式」

修了式

第12期Aコース研修生の修了式を東京都教職員研修センター視聴覚ホールで挙行了しました。

研修生は令和5年7月に次世代リーダー育成道場に入校し、国内での約半年間の事前研修に取り組みました。そして、令和6年1月下旬から約10か月間のオーストラリア又はニュージーランドでの留學生活を終え、本日の修了式を迎えました。

初めに、研修生一人一人に東京都教育委員会小寺康裕次世代リーダー育成道場長から修了証書が授与されました。修了証書授与後、小寺道場長から「留學中に異なる文化や考え方に触れ、困難に直面してもそれを乗り越え、たくましく成長した皆さんには、次世代のリーダーとして意見の異なる人たちをまとめ、その課題を解決していく力があると信じています。よりよい世界を創り上げていくために、その力を存分に発揮してもらいたいと思います。」と期待を込めた言葉が送られました。

修了生代表の言葉では、「事前研修と約一年間の留學を終え、私たちは大きな節目の時を迎えています。しかし、ここはゴールではなく、新たなスタートです。これから私たちは、このプログラムを通して培った知識や経験を、未来の東京都、そして日本に還元していかなくてはなりません。今まで私たちは沢山の人たちに支えてしてもらいましたが、これからは私たちが誰かを支えていく番です。人それぞれ、今後の進路、目標もそれぞれで、活躍する舞台は異なりますが、次世代リーダー育成道場で得た学びを基に、一人一人が、これからの人生を切り拓いていきます。修了生として、そして将来の日本や東京を担う次世代のリーダーとして、それぞれの場所で、より良い未来を築くために、自分の強みを最大限に発揮しながら活躍します。」と力強い表明がありました。



成果発表会

修了式後に行われた成果発表会では、研修生を代表した5人がそれぞれの研修成果や留學生活の様子を発表しました。

■英語によるスピーチ（代表者3人）

テーマ： Three Lessons I Learned Studying in Australia

What I Learned in Australia

Talk with Yourself

■英語によるゼミナール研究発表（代表者1人）

テーマ： Promoting Gender Equality in Rugby: A Comparative Analysis between Japan and Australia

■日本語によるゼミナール研究発表（代表者1人）

テーマ： 水質汚染改善策 ～ ヘドロコンクリートで水を豊かに ～

英語によるスピーチでは、留学先で学んだことや感じたことを英語で発表しました。楽しさや苦しさなど様々な体験を通して成長したことがうかがえました。

ゼミナール研究発表では、ゼミナール研究の結果を発表しました。留学前と留学中を合わせた約1年半、研修生全員がそれぞれ自分でテーマを決め、研究を進めてきました。ゼミナール研究を通じて学んだことや気付いたことについて、次世代リーダー育成道場修了後も、ぜひ興味をもって学び続けてほしいです。代表で発表した2人の研究は現代社会の課題解決を探る内容豊かな発表でした。

代表者の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。



《3人の英語によるスピーチ》



《英語と日本語によるゼミナール研究発表》